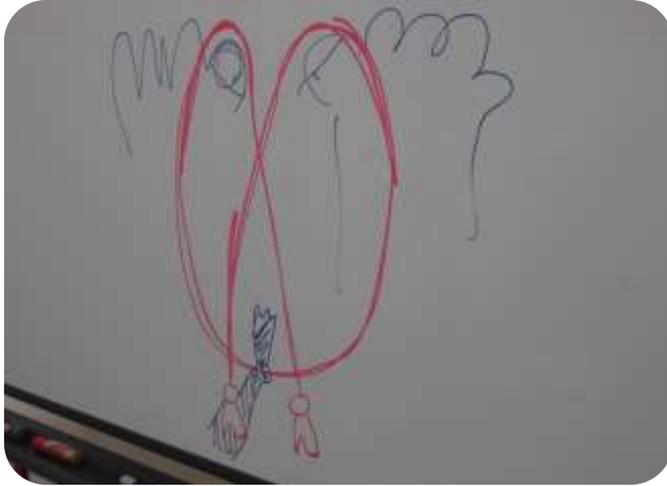


3 本体を作ります

①



②



足の親指にロープをかけます。
(写真①、②)

③



洗濯バサミでロープを止め、ロープの先端と輪になったロープが手元にくるようにします。(写真③)

④



かかとからつま先の方へ編んでいきます。(写真④)

⑤



持参した布で、4本のロープを前と裏、交互になるように編んでいきます。(写真⑤)

⑥



同じ動作を繰り返しながら、時々、ロープの間に指を入れ、ぎゅ、ぎゅっと押し付けて形を整えます。(写真⑥)

⑦



本体を15cmくらい編んだところで、2 鼻緒を作りますで、作成した鼻緒を付けます。(鼻緒を編み込みます。)(写真⑦、⑧)

⑧



鼻緒を付け終わったら、⑥までの布を使い、続けてぞうり編みをしていきます。
つま先まで続けて、余った布やロープは竹べらや割りばしで編み目の間に差し込んでおきます。

注意

途中で編み布を継ぎ足す時は…

※ 編み布が残り3cmくらいになったら、布の端をぞうり本体の裏側に出しておきます。少し、重ねるようにして次の編み布を足してこれまでの作業を進めていきます。(この時も編み始めの布は裏側から)



⑨



編み込まれた鼻緒の、ぞうりに付いていない方（赤で囲った部分）に布を巻き付けておきます。（写真⑨、⑩）

⑩



⑪



写真⑨、⑩で巻き付けた布をぞうりにつけ、竹べらや割り箸でぞうりにねじ込み、裏に通します。これにより、鼻緒はぞうりに付きます。裏に通した布は固く結んでおき、ぞうりから外れないようにします。これを前緒とします。（写真⑪）

※ ここまでの作業で片方の布ぞうりの完成です。もう片方のぞうりも同様の作業を繰り返して作成します。

